



➤ 角膜内皮移植手術器具(DSAEK)助成金申請

角膜を移植する手術の方法には、「全層角膜移植」と「内皮角膜移植」があります。従来の手術は、「全層角膜移植」の方法で、摘出して剥いだ角膜を患者の目に糸で縫い合わせて行っているもので、そのために強い乱視が生じたり、視力回復が満足できない場合もあるそうです。最近の手術では、角膜の傷んだ部分のみを切除して、必要な組織のみを移植するという角膜内皮移植手術器具(DSAEK)による「パーツ移植」の方法が盛んに行われるようになってきていると云われます。

- この度、富山大学眼科 林教授および富山県眼科医師会から「DSAEK」に対する強い要請もあり、当アイバンクから富山県ライオンズクラブ奉仕銀行に対し補助金の要請を行いました。奉仕銀行では、この要請に対して800,000円の交付金を決定頂きました。また、こうした[DSA EK]は、LCIF援助金目的である「視力ファースト」の一環であり、1R・2Rライオンズクラブの共同アクティビティとしてLCIFへ要請して頂くことになりました。1R1Z富山ライオンズクラブを申請幹事クラブとして手続きが行われて、334-D地区キャビネット会議の承認をえ、現在キャビネットからLCIFへ申請の手続きがとられました。

< 7月の事業実績の概要 >

● 献眼登録者数	6名
● 累計	19,103名
● 献眼者数	1名
● 累計	13名
(移植手術を受けられた人数 21人)	
● 奉仕銀行助成金	0円
● 累計	1,250,000円
● 寄付金収入	83,000円
● 累計	881,375円
● 賛助会費収入	10,000円
● 累計	766,000円
● 募金収入	55,634円
● 累計	221,965円
●	(助成金寄付金等収入累計 3,109,340円)

◆1人のご献眼がありました

去る7月19日、高岡市の80歳代の女性の方からご献眼いただきました。

この方は、10年前にお姉さまの葬儀の際に、アイバンクの崇高な献眼事業を痛感され、登録された方でした。また、お姉さまのご子息は、元八尾婦中ライオンズクラブのメンバーの方でした。

ライオンズクラブの献眼活動が次の献眼に結びついていることをうれしく思いました。

◆平成20年度中間期監査終わる

去る6月28日、監事の高瀬氏、港氏に監査を受けました。監査結果については、9月開催の理事会・評議員会にてご報告いたします。

◆新ライオンにお願い

当アイバンクの事業は、ライオンズクラブの視力障害者支援活動として、ライオンズクラブの全面的な支援によって行われています。新会員の皆様には、ご家族を含めて「献眼登録、賛助会費(個人3000円/年、団体10000円/年)をお願いいたしております。

・助成金・寄付金・賛助会費・募金者(6/1~6/30まで):敬称略

寄付金

・富山県呉西地区眼科医会 83,000円

賛助会費 法人

・富山セントラルLC

募金

・宮岸株式会社(富山LC) 7,315円

・光ヶ丘病院(高岡LC) 737円

・セイアグリーシステム(高岡古城LC) 20,967円

・その他 26,615円

<理事会・評議員会開催予定>

9月6日(土)、ANAクラウンプラザホテルにて

理事会・評議員会を開催いたします。

関係役員の皆様はお忙しいとは存じますが、

ご出席くださいますようお願い申し上げます。

Toyama Eye Bank

〒930-0194 富山市杉谷 2630 番地 Tel 076-434-5710 Fax076-436-0146

URL: <http://www.toyama-eyebank.com> E-mail info-toyama-eyebank.com